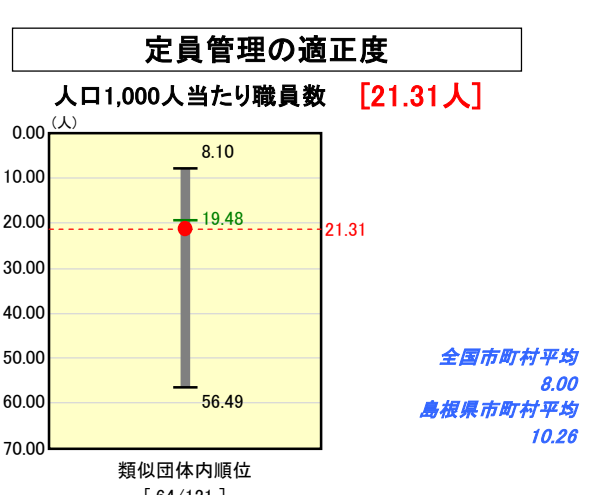
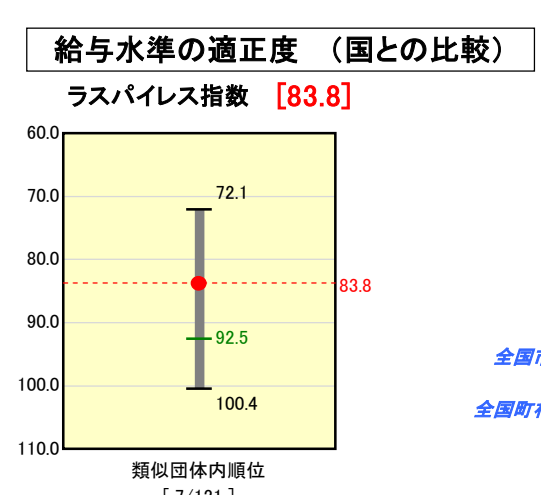
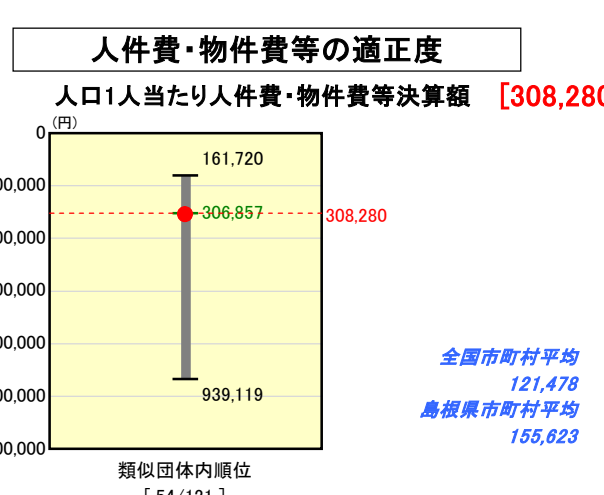
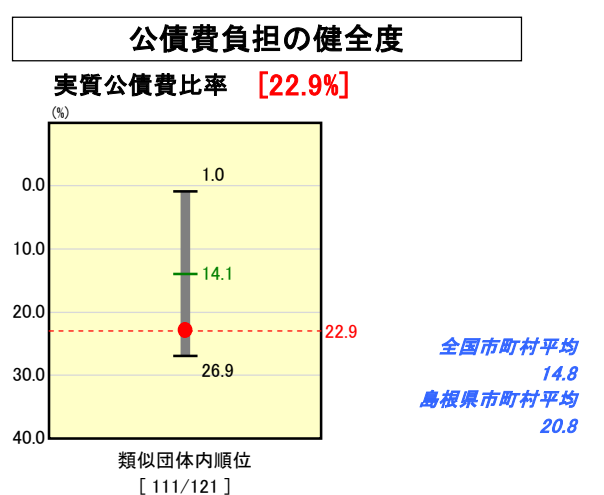
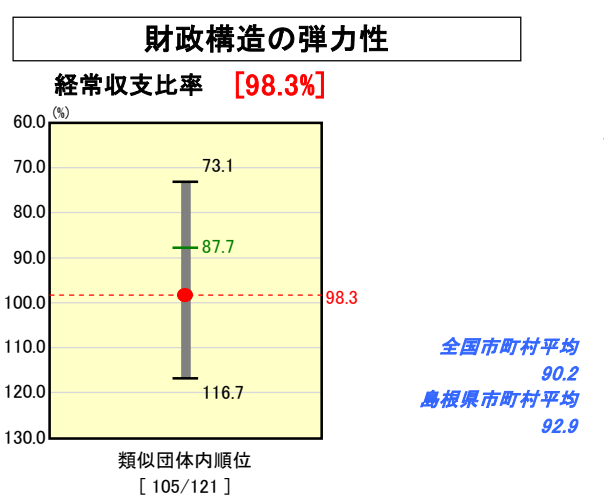
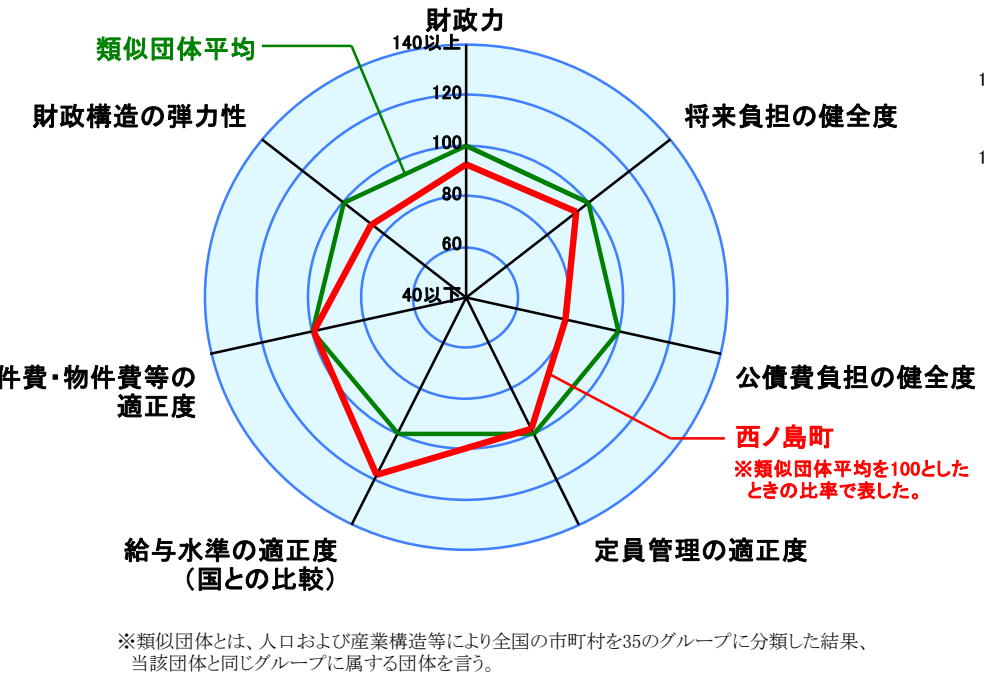
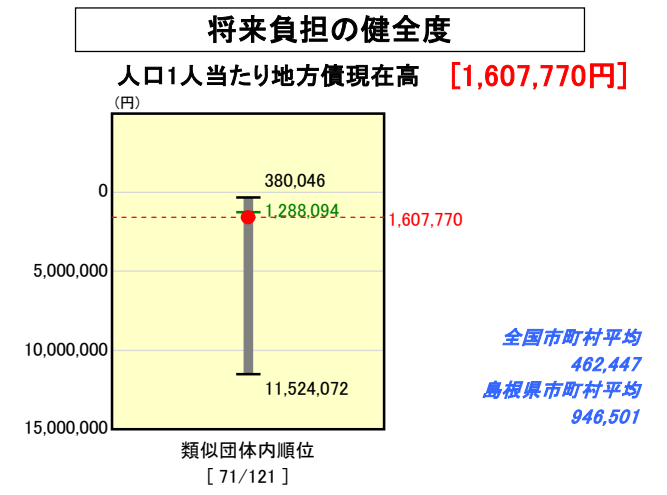
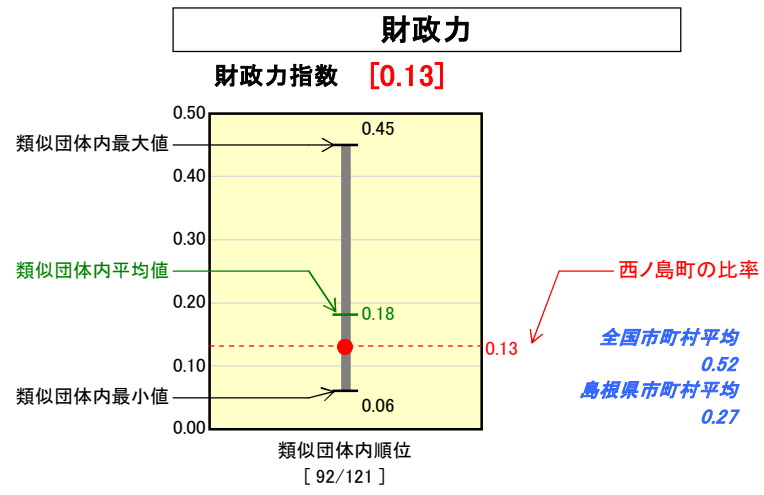


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

島根県 西ノ島町

人口	3,567	人(H18.3.31現在)
面積	56.01	km ²
歳入総額	3,461,413	千円
歳出総額	3,451,721	千円
実質収支	9,692	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
人口の減少、漁業不振による収税減等の影響により極めて低い。人件費の削減、投資的経費の抑制等による歳出削減とあわせ、引続き滞納額の圧縮など更なる徴収業務の強化に取り組む。

【経常収支比率】
早期退職者制度等による人員の削減(H16末:13名)、人件費カット(議員15%、特別職25~20%、一般職14~10%)、公債費等の減少により歳出の抑制が図られ、対前年比0.2ポイント下がった。比率は依然として類似団体平均を上回っているが、平成18年度より公立保育所の統合、指定管理者制度の導入により経常経費の節減に努める。

【実質公債費比率】
比率は類似団体平均を大きく超えてはいるもの下記で述べているとおり、町債償還のピークは過ぎている。投資的事業の縮減・町債の新規発行の抑制を行っている効果も働き、徐々にではあるが比率は減少し平成21年度までには18%台を下回るように努力する。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体平均を大きく上回っている要因は過去に積極的な事業展開の財源として大量に地方債を発行したことによるが、起債残高のピークは過ぎている。「公債費負担適正化計画」に基づき新規発行債の抑制を図りつつ、平成22年度には類似団体平均水準となるように努める。

【ラスパイレス指数】
平成16年度から職員の給与カット(一般職14~10%)の実施により、ラスパイレス指数は83.8と類似団体の中でも最低水準にある。各種手当の見直しも行い、給与の適正化に努めている。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体を上回っているが、これは離島の宿命であり、ごみ処理施設の一町単独処理や公立保育所の運営など、あらゆる面で自己完結を求められる状況にある。今後とも、職員適正化計画や集中改革プランに基づき事務事業の見直し、指定管理者制度などの導入により職員数の適正化に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
決算額が類似団体平均を上回っている主な要因は人件費である。ごみ収集業務、保育所、給食センターなどの施設運営を直営で行っていることに起因するが、平成18年度より公立保育所の統合、指定管理者制度の導入によりコストの低減に努める。